

別表第1（第5条関係）

事 務 事 業 評 価 シ ー ト

評価対象年度 平成 20 年度

【事務事業の基本的事項】

事 務 事 業 名	墓地公園管理運営費					
担 当 課 係 名	環境防災 課		生活環境 係		作成者	新山弘伸
総 合 計 画 で の 位 置 づ け	施策の大綱	-				総合計画のページ
	基本計画	-				
	主要施策	-				-
予 算 費 目	一般 会計	4 款 衛生費	1 項 保健衛生費	3 目 環境衛生費		
事 業 期 間	平成 年度 ～ 平成 年度		新規／継続の区分		継続	
性 質 区 分	☒ 市民サービス	☐ 公共事業	☐ 施設維持管理	☐ 補助金	☐ 内部管理	
根 拠 法 令 等	仙北市墓地公園条例					
事 務 区 分	☒ 自治事務		☐ 法定受託事務			
運 営 方 法	☒ 直 営		☐ 直営（一部民間委託）		☐ 民間委託(全部) ☐ 補 助	

【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	全市民
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	公共性、公益性にかんがみ、住民に対する基礎的なサービスとして需要に応じて行政が計画的に供給する事が望ましいと考えられること、将来にわたって安定的な運営を行うことができ、住民がより安心して利用できる。
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	区画の造成管理、管理手数料の賦課管理、収納、承継事務

【事務事業の推移】

	項 目			単位	18年度実績	19年度実績	20年度実績	
効果	活動指標	整備済総区画数	目標	区画	1,376	1,436	1,466	
			実績	区画	1,376	1,436	1,466	
			達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%	
	成果指標	永代使用許可済区画数	目標	区画	1,376	1,436	1,466	
			実績	区画	1,370	1,273	1,309	
			達成度	%	99.6%	88.6%	89.3%	
投下コスト	項 目		総事業費		18年度決算額(千円)	19年度決算額(千円)	20年度決算額(千円)	
	事業費（人件費を除く）(A)				1,536	2,902	2,437	
	人 件 費 (B)		—		3,141	3,228	3,170	
	職 員 数		—		0.40	0.40	0.40	
	職 員 平 均 人 件 費		—		7,853	8,071	7,925	
	(A) + (B) 投下コスト				4,677	6,130	5,607	
	財源内訳	国 庫 支 出 金						
		県 支 出 金						
		地 方 債						
		そ の 他				4,575	5,862	4,205
		一 般 財 源				102	268	1,402
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—		3,399	4,269	3,825	
	市民1人当たりのコスト(円)		—		147	195	181	

【事務事業の今までの成果】

19年・20年に計90区画造成し、64区画を市民からの申請に基づき永代使用許可した。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	各自治体と同様である。
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	毎年、要望もあり住民に対する基礎的なサービスとして需要に応じ区画造成していく。

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性	判 定 に 至 っ た 理 由
A	A 現状のまま継続（実施）	市民のニーズに合わせ、平成19年度から区画造成を行っている。
	B 1 見直しの上で継続（拡大）	
	B 2 見直しの上で継続（手段改善等）	
	B 3 見直しの上で継続（縮小）	
	C 1 大幅な見直しの上で継続（拡大）	
	C 2 大幅な見直しの上で継続（手段改善等）	
	C 3 大幅な見直しの上で継続（縮小）	
	D 休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	
	E 終了（完成及び目的を達成し終了した事業）	

※一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

市民の要望に応え、前年度の実績を踏まえながら今後も区画造成していく。

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
B 3	民間業者において同種のサービス提供が行われていることを踏まえ、より効率的な業務体制を確保する対応が求められます。

一次評価診断図

